# 10/12(□)17:00□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□10□12□(□)17□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

---

# 10/26(□)□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

# ジョン・クリステンセン氏来日記念講演

# パナマ文書問題～不平等社会の克服に向けて、国際的な税逃れの実態と対策を考える

パナマ文書が流出し、世界の富裕層や大企業などが、パナマなどのタックス・ヘイブン（租税回避地）を利用して租税逃れや財産隠しをしている実態の一部が暴露されました。

日本国内では、財源がないことを理由に、医療、介護、年金、生活保護等幅広い分野で社会保障の削減が進められています。

タックス・ヘイブンを利用できる一部の富裕層等には巨額な税逃れの抜け道を残し、庶民に対しては厳しく課税しつつ社会保障は削減するとなれば、格差と貧困は、これまで以上に拡大するばかりです。

当連合会は、社会保障の削減が進み、所得再分配機能が弱まる中で、生存権の保障が脅かされている「不平等社会」の克服が喫緊の課題であるとし、その対策を求めてきたところです。

今回、タックス・ヘイブン問題に先駆的に取り組んできた国際的な市民団体「タックス・ジャスティス・ネットワーク」代表のジョン・クリステンセン氏がイギリスから来日されるのを機に、不平等社会の克服に向けて、国際的な税逃れの実態と対策について、みなさんと一緒に考えたいと思います。多くの方のご参加をお待ちしています。

JFBA 日本弁護士連合会

記念講演

## 「パナマ文書問題～国際的な税逃れの実態と対策」

## ジョン・クリステン氏（タックス・ジャスティス・ネットワーク代表）

（日本語通訳あり）

＊タックス・ジャスティス・ネットワークとは

租税を回避するタックス・ヘイブンの監視をするため、専門家、リサーチャー、ジャーナリスト、様々な市民団体等との世界的なネットワークを持ち、公正な租税措置を世界に広めるための継続的な取組をしている国際的な市民団体

タックス・ヘイブン問題の第一人者
ジョン・クリステンセン氏

**参加費・事前申込不要**

**2016年10月26日（水）**

**18:30～ 20:30**

**弁護士会館2階講堂「クレオ」BC**

アクセス（交通案内）
地下鉄丸ノ内線 霞ヶ関駅（B1-b出口）から徒歩1分
地下鉄日比谷線 霞ヶ関駅（B1-b出口）から徒歩1分
地下鉄千代田線 霞ヶ関駅（B1-b出口）から徒歩1分
地下鉄有楽町線 桜田門駅（5番出口）から徒歩8分
地下鉄日比谷線 日比谷駅（A14、A10出口）から徒歩10分
地下鉄千代田線 日比谷駅（A14、A10出口）から徒歩10分
都営三田線 日比谷駅（A14、A10出口）から徒歩10分

※当連合会では，本シンポジウムの内容を記録し，また，成果普及に利用するため，会場での写真・映像撮影及び録音を行っております。撮影した写真・映像及び録音した内容は，当連合会の会員向けの書籍のほか，当連合会のホームページ，パンフレット，一般向けの書籍等にも使用させていただくことがあります。また，報道機関による取材が行われる場合，撮影された映像・画像はテレビ，新聞等の各種媒体において利用されることがあります。撮影をされたくない方は，当日，担当者にお申し出ください。

主催：日本弁護士連合会　お問い合わせ：日本弁護士連合会人権部人権第一課　TEL03-3580-9857

□□□□□□□□⇒□□□□□□□□

# 10/23(□)□□□

埼玉奨学金問題ネットワーク設立3周年記念シンポジウム

# これで解決！奨学金問題

2016年
## 10/23(日)
13:30〜16:30 (開場13:00)

参加費無料　事前申込不要

**会　場**

市民会館うらわ603・605

さいたま市浦和区仲町2−10−22

**主催**　埼玉奨学金問題ネットワーク

**後援**　奨学金問題対策全国会議、
一般社団法人埼玉県労働者福祉協議会


**お問合せ先**

〒330−0064　さいたま市浦和区岸町7−12−1　東和ビル4階
埼玉総合法律事務所内　TEL 048−862−0800　FAX 048−866−0425
埼玉奨学金問題ネットワーク　事務局長　弁護士　鴨田譲
公式ホームページ　http://saitama.syoagkukin.net/


## プログラム

### ●基調講演

奨学金問題対策全国会議事務局長
弁護士　岩重佳治氏

1997年弁護士登録、東京市民法律事務所入所。東京弁護士会所属。

主な活動
日弁連貧困問題対策本部（女性と子どもの貧困部会）委員など

著　作
「日弁連子どもの貧困レポート」日本弁護士連合会編（明石書店）（共著）など

### ●基調報告

埼玉奨学金問題ネットワーク代表
聖学院大学教授　柴田武男氏

1952年東京生まれ。東京大学大学院経済学研究科第二種博士課程満期退学。

専　門　金融市場論

近著論文
「構造改革路線と奨学金制度の変容（上）（下）：日本育英会から日本学生支援機構へ」、
「聖学院大学論叢」第28巻 第1号2015/10・第2号2016/3）

### ●取組報告

県立高校教諭　仲野研氏　NPO法人POSSE　岩橋誠氏

### ●当事者発言


DESIGNED BY MIXPIX

□□□□□□□□⇒10/23(□)□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

---

# 10/29 □□□□□□□□□ □□□□□□□□3,000□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□

”□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□”

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□ □□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

# 「財源がない」は本当なのか?

## 3,000兆円も眠るタックス・ヘイブンから格差社会、税制を考える

**なんと!**
**タックス・ヘイブン問題の世界の第一人者「タックス・ジャスティス・ネットワーク」の代表が、イギリスから緊急来日!!**

グローバリゼーションの影で過酷さを増す世界の貧困と格差。その解消のためには世界中の富を再配分すべきであると言われています。

他方、先般、パナマ文書により、世界の元首や大企業などがタックス・ヘイブンを利用した税逃れを行っている実態が暴露されました。この文書には約400の日本の企業や個人の情報も含まれています。一部の大企業や富裕層等が課税を逃れ、その穴埋めを市民が負うという不公正な税のあり方は是正されなければなりません。

本集会では、この問題の最先端の情報を収集し、活動している国際組織であるタックス・ジャスティス・ネットワークの代表者のジョン・クリステンセン氏と、シニア・アドバイザーのクリシェン・メータ氏をお招きして、「税の公正(タックス・ジャスティス)」に関する基調講演と、さらに、この問題に関する課題と提言等のご報告をいただきます。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

タックス・ジャスティス・ネットワーク代表
ジョン・クリステンセン氏

タックス・ジャスティス・ネットワーク、シニア・アドバイザー
クリシェン・メータ氏

### プログラム

**ミニ講演**

**タックス・ヘイブンを追及する市民運動が、なぜ今必要か?**

雨宮 処凛氏 (作家、社会運動家、公正な税制を求める市民連絡会共同代表)

**基調講演**

**税の公正(タックス・ジャスティス)とは**

ジョン・クリステンセン氏
(タックス・ジャスティス・ネットワーク代表)

**報告**

**タックス・ヘイブン対策の課題と提言**

ジョン・クリステンセン氏
クリシェン・メータ氏
(タックス・ジャスティス・ネットワーク、シニア・アドバイザー)

**総括** 合田 寛氏 (公益財団法人政治経済研究所理事)

**ミニ講演**

**市民運動と国際連帯の必要性**

宇都宮 健児氏
(弁護士、元日弁連会長、公正な税制を求める市民連絡会共同代表)

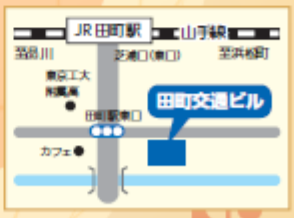
### 日時

2016年
**10/29(土)**
**13:00〜16:30**
(12:30受付開始)

資料代:1,000円
※お支払いが難しい方は入場時にお声をおかけください。
無料で資料をお渡しします。

### 会場

**田町交通ビル 6階ホール**
港区芝浦3-2-22
■ JR田町駅「芝浦口」徒歩3分




公正な税制を求める市民連絡会　事務局連絡先　弁護士/猪股 正　〒330-0064 埼玉県さいたま市浦和区岸町7-12-1　東和ビル4階
埼玉総合法律事務所　TEL.048(862)0355　FAX.048(866)0425

MAXPIX

# □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

# 出演者募集！

1996年　埼玉憲法ミュージカル「I LOVE 憲法」Vol.4『わが町わが島 - 仮の町仮の島 -』

1993 年に埼玉で産声を上げた憲法ミュージカル。
2002 年までの 10 年間で 10 作品を上演し、
1000 人の一般市民が舞台に立ちました。
バトンは繋がり 2007 年。今度は東京多摩地区で芽吹き 3 作品を上演。

この 2 つの地域が手を繋ぎ、2007 年に沖縄をテーマに上演された
『キジムナー』を再演する事になりました。
あなたも参加しませんか？

## キジムナー

Kijmuna

作：田中 暢 ／ 脚本・演出：佐竹 啓之 ／ 振付・演出：石橋寿恵子 ／ 音楽：Matsunobu

# 市民100人でつむぐミュージカル

2007年　LIVE！憲法ミュージカル in さんたま『キジムナー』　写真：[illegible]達也

## 公演日/2017年5月

20日（土）埼玉会館 大ホール（さいたま市）　夜1回公演
21日（日）埼玉会館 大ホール　昼1回公演
27日（土）たましん RISURU ホール 大ホール（立川市）昼夜2回公演

主催　埼玉 × 三多摩憲法ミュージカル実行委員会
お問い合わせ先　TEL 050-3701-2017　FAX 04-2998-5120
URL　http://www.cueofa.com/kenpoumusical/
E-mail　2017kpmusical@gmail.com

後援：立川市 / 立川市教育委員会 / 埼玉弁護士会 / テレ玉 / 埼玉新聞社 / 毎日新聞さいたま支局
東京新聞さいたま支局 / 東京新聞立川支局 / 朝日新聞さいたま総局 / 朝日新聞立川支局

## オーディション

※詳細は応募者に後日お知らせします

2016年12月4日(日)

**応募資格**
国籍・性別・経験不問
全公演に参加
埼玉・三多摩両地域の練習に参加
6歳以上（小学生以下は保護者同伴）
出演参加費 10,000 円を納入する

**練習日程**
2017年1月～5月（1月中は日曜のみ）
以降、土・日・祝の練習（合宿あり）

1993□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

2002□□□□10□□□10□□□□□□□□
1000□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□2007□□□□□□□□□□□□□□□□3□□□□□□□

□□2□□□□□□□□□□□□2007□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

# □□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□×□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□TEL□050-3701-2017□FAX□04-2998-5120
E-mail□2017kpmusical@gmail.com

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□(PDF)

---

# 11/28(□)□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□

□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

参加無料

毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です。

# 過労死等防止対策推進シンポジウム

日時 平成28年11月28日(月)
14:00～17:00 (受付13:30～)

会場 さいたま共済会館
(さいたま市浦和区岸町7-5-14)
[定員] 200名

主催：厚生労働省　　後援：埼玉県 (予定)
協力：過労死等防止対策推進全国センター、全国過労死を考える家族の会、過労死弁護団全国連絡会議、
埼玉産業保健総合支援センター

# 埼玉会場 過労死等防止対策推進シンポジウムを開催します。

## 講師プロフィール

### 山本 晴義 氏

横浜労災病院 勤労者メンタルヘルスセンター長

**「受けよう、活かそう！ ストレスチェック」**

(独法)労働者健康安全機構 横浜労災病院 勤労者メンタルヘルスセンター長
(独法)労働者健康安全機構 神奈川産業保健総合支援センター 相談員
埼玉学園大学大学院客員教授(心身医学特論)

1972年 東北大学医学部卒業
1991年 横浜労災病院心療内科部長
1998年 横浜労災病院勤労者メンタルヘルスセンター長(現職)

専門領域 心身医学 産業医学 健康教育学
医学博士 日本医師会認定産業医 日本心療内科学会認定指導医
日本職業災害医学会認定労災補償指導医

【主な著書】 Dr山本流 ストレスチェック完全攻略(日本医事新報社)
心の回復 6つの習慣(集英社)
ストレス一日決算主義(NHK出版) その他

【DVD監修】 受けよう、活かそう! ストレスチェック(アスパクリエイト)

### 尾林 芳匡 氏

東京過労死弁護団幹事長

**「過労死の実情と求められる防止策」**

1961年生、東京大学法学部卒業(菅野和夫「公共部門労働法」ゼミ)
1990年弁護士
過労死弁護団全国連絡会議幹事、東京過労死弁護団幹事長
日本労働弁護団常任幹事

【主要著書・論文】
「過労死をなくすために」(「平和と人権の時代を拓く」所収・日本評論社・2004年)
「採石工場プラント主任の過労死に労災認定」(季刊労働者の権利2002年)
「労働条件切り下げのための子会社への営業譲渡」(労働法律旬報労働法律旬報1514号・2001年)
「Q&A自治体アウトソーシング」(共編・自治体研究社・2004年)
「自治体の外部化と公務労働の行方」(「公務員制度の変質と公務労働」所収・自治体研究社・2005年)
「東京都立4大学の地方独立行政法人化 」(自治と分権第17号・2004年)

## プログラム

**開会挨拶** 厚生労働省 埼玉労働局長

**講演「過労死の実情と求められる防止策」** 尾林 芳匡 氏(東京過労死弁護団幹事長)

**講演「受けよう、活かそう！ ストレスチェック」** 山本 晴義 氏(横浜労災病院 勤労者メンタルヘルスセンター長)

**家族の会より体験談発表**

## 参加申込について

- 会場の都合上、事前の申し込みをお願いします。
  (定員に満たない場合は、当日参加も可能です)
- 申し込みはWeb又はFAXでお願いします。
- 参加証は発行いたしません。そのまま当日お越しください。

## 会場のご案内

**さいたま共済会館**

さいたま市浦和区岸町7-5-14

・浦和駅西口より徒歩約10分

Webからの申し込み：下記ホームページをご覧いただき、申し込みをお願いいたします。

**https://www.p-unique.co.jp/karoushiboushisympo**

FAXでの申し込み：以下の参加申込書に必要事項を記載の上、FAXをお願いいたします。

**FAX番号 03-6264-6445** 株式会社プロセスユニーク 過労死等防止対策推進シンポジウム 受付窓口 行

※ 氏名等をご記入いただき、該当する□に✔を入れてください。

## 過労死等防止対策推進シンポジウム［参加申込書］

| | | | |
|---|---|---|---|
| ふりがな<br>お 名 前 | | 参加の状況 | □ 今回初めて参加する<br>□ 昨年も参加した |
| 企 業<br>団体名 | | | |

個人として参加される方は、次の該当する□に✔をお願いいたします。
□ 自営業 □ パート・アルバイト □ 主婦 □ 学生 □ 無職
□ 教職員 □ 弁護士 □ 社会保険労務士 □ その他 [ ]

※申し込みいただいた個人情報は、主催者が適正に管理し、シンポジウム運営のみに使用いたします。

(お問い合わせ先) 株式会社プロセスユニーク 電話：03-6264-6433 E-mail：karoushiboushisympo@p-unique.co.jp

□□□□□□□□□281128(PDF)

# □□□□

# 7/4(□)□□□□□□□□□

**7□4□(□)**□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□

13:00□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

13:10 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□1976□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

生活保護問題対策全国会議　設立9周年記念集会

## 「健康で文化的な生活」は何処へ?～

# 権利としての生活保障を求めて

予約不要
**無料**
カンパ大歓迎

予算の削減が続く社会保障の現場は一触即発。保育の分野では「保育園落ちた」という一個人のブログが大きなうねりを巻き起こし、高等教育の分野でも給付型奨学金の創設が政治課題となりつつあります。
時代の転換点にある今、生活保護の分野でも、バッシングを乗り越えて、制度への理解と利用を促すにはどうすればよいか。全国27都道府県で900名近い当事者が原告として提訴している生活保護基準引下げ違憲訴訟を足場に取り組めることは何か。各界のパネリストの方々とともに考えたいと思います。

**日　時**　2016年
**7/18（月・海の日）**
**13:00～17:00**（受付開始12:30）

**会　場**
**ハイライフプラザいたばし**
東京都板橋区板橋1-55-16
TEL:03-5375-8105
●JR埼京線「板橋」駅西口より徒歩1分
都営地下鉄三田線「新板橋」駅
A2・A3出口より徒歩3分

## プログラム

13:00　開会挨拶・基調報告
「生活保護をめぐる最近の状況」小久保 哲郎（弁護士、当会顧事務所長）

13:10　「当事者アンケートにみる生活保護基準引き下げの影響」
山田 壮志郎さん（日本福祉大学社会福祉学部准教授）

13:30　当事者発言

13:45　基調講演
「大きなパイを隠してるのは誰?
こんな分け前じゃ生きられない!」さいき まこさん（漫画家）

14:35　休憩

14:50　パネルディスカッション
「権利としての生活保障を求めて」
〈コーディネーター〉稲葉 剛さん（住まいの貧困に取り組むネットワーク世話人）
〈パネリスト〉花井 圭子さん（労働者福祉中央協議会事務局長）
我那覇 圭さん（東京新聞政治部記者）
山田 壮志郎さん（日本福祉大学准教授）
さいき まこさん（漫画家）

16:25　まとめ
「これからの私たちの取り組み」尾藤 廣喜（弁護士、当会顧代表幹事）

### プロフィール

**山田 壮志郎さん**
1976年生まれ。日本福祉大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了。社会福祉士。2010年4月より現職。専攻は公的扶助論。著書に「ホームレス支援における就労と福祉」（明石書店、2009年。同書で第16回社会政策学会賞受賞）。「無料低額宿泊所に関する研究」（明石書店、2016年）。

**さいき まこさん**
2013年「陽のあたる家　～生活保護に支えられて～」（秋田書店刊）を出版。「生活保護を日本で最初に本格的に取り上げた漫画」として新聞各紙、テレビ番組などで取り上げられ話題となる。2014年「貧困ジャーナリズム大賞」特別賞を受賞。2015年「神様の胃中　～貧困の中の子どもたち～」（秋田書店刊）を出版。

**【主催】生活保護問題対策全国会議**
**【後援】公正な税制を求める市民連絡会**

連絡先：〒530-0047 大阪市北区西天満3-14-16 西天満パークビル3号館7階
あかり法律事務所　弁護士 小久保 哲郎　TEL 06-6363-3310

# □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□ □ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□

□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□

□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□

□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□

□□□

□□□□□

□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□

□□□□□

□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□5□□□□□□□□□□□□□□1□□□□□□□□□

□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□